

所属	実習教育研究・研修センター(現 実習教室)	職名	黒川京子	氏名	黒川 京子	大学院の授業担当の有無	(有・無)
授業科目							
社会福祉学部	<ul style="list-style-type: none"> ・相談援助実習指導 ・相談援助実習指導 ・相談援助演習 ・相談援助演習 ・相談援助演習 ・国際社会福祉論 						
専門職大学院							
大学院博士前期							
大学院博士後期							
通信教育科	・社会福祉主事養成課程「社会福祉援助技術論」						
教育活動							
教育実践上の主な業績		年月日	概 要				
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)			<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルワーカーとしての価値・倫理・尊厳の尊重など、基盤となるものを大切に考え、演習・実習指導の授業を展開した。 ・ソーシャル・インクルージョンの視点の重視。 ・国際的な視野を持つことに繋がる、様々な教材を用いたり、学びの機会を準備したり、アジアへのスタディツアーの企画に参画するなど。 ・60回以上の実習先訪問(実習巡回指導、実習指導者との打合せ等)や、懇談会を通して、実習受入れ施設・機関の指導者との連携を図り続けている。 ・学生委員として、学生の心身をトータルにサポートする取り組みを続けている。 				
2 作成した教科書、教材、参考書							
2017年度 日本社会事業大学社会福祉援助技術実習の手引き		2017年4月	現場実習の手引き(共同作成)				
2017年社会福祉主事養成課程 面接授業概要		2017年7月	社会福祉援助技術論				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等							
4 その他教育活動上特記すべき事項							
研究活動							
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数		
<著書・編著書>							
<研究論文・研究ノート>							
(研究ノート) 朝日訴訟におけるソーシャルワーカーの専門性 ～日本社会事業大学所蔵のマイクロフィルム資料を専門職育成に活かすために～		2018年3月	日本社会事業大学研究紀要第64集		57-65		
<調査・研究報告書>							
2016年度 共同研究実績報告書 社会福祉相談援助実習において獲得が目指されるコンピテンシーと学習効果を高めるプログラム・実習指導に関する研究		2017年5月 および6月、8月	日本社会事業大学社会事業研究所Web				
<翻訳>							
<その他の執筆活動>							
社会福祉学部 相談援助実習 2016年度の実績報告		2017年9月	2017年度 実習教育研究・研修センター年報 第7号(通巻11号)				
学会等および社会における主な活動							
<学会報告>							
日本社会福祉学会	生活保護に関する行政訴訟における福祉専門職の役割 ～専門職としてのソーシャルアクション～						
社会事業史学会	朝日訴訟から「第二の波」に続く、行政訴訟の展開要因に関する考察						
東京社会福祉史研究会	朝日訴訟当時の社会的影響および福祉専門職が果たした役割 ～マイクロフィルム資料を中心に～						

日本福祉教育・ボランティア学習学会	ボランティア活動による地域の変化に関する一考察 ～地域の動物問題に取り組むボランティア活動と、社協、行政との連携に着目して～
< 講演活動 >	
東葛看護専門学校	朝日訴訟と人権について、看護学生とともに考える授業の講師(2014年、2015年、2016年、2017年12月)
< 所属学会 >	
日本社会福祉学会	
日本社会福祉士会	
日本福祉教育・ボランティア学習学会	
社会事業史学会	
公的扶助研究会	
東京社会福祉史研究会	
< 社会的活動 >	
救世軍自省館 地域連絡員会座長および 第三者委員	大学近隣の救護施設(生活保護法)における地域連絡委員会。および利用者の生活向上、苦情解決等を目的とした第三者委員。
特別養護老人ホーム ところの苑 第三者 委員	特別養護老人ホームにおける苦情解決および処遇向上等を目的とした第三者委員。
救世軍婦人寮 第三者委員	婦人保護施設における、苦情解決および生活環境向上等を目的とした第三者委員
社会福祉法人まりも会 評議員	特別養護老人ホーム、障がいを持つ方を対象とした施設等を展開する社会福祉法人の質的向上を目指す評議員